

## 「香取市学校等適正配置計画・実施プラン（案）」に対する パブリックコメントの実施結果について

「香取市学校等適正配置計画・実施プラン（案）」について実施したパブリックコメントの結果について、次のとおり報告いたします。  
貴重なご意見をお寄せいただき有難うございました。

### 1. 意見募集の結果概要

意見の募集期間	平成 22 年 1 月 4 日～平成 22 年 1 月 25 日
意見の提出件数	提出者数： 8 名 意見件数： 36 件
意見への対応等	意見を参考に案を修正したもの： 0 件 原案のとおりとしたもの： 36 件

### 2. 意見の内容及び意見に対する市の考え方

No.	意見の内容（要旨）	意見に対する考え方	修正有無
1	<p><b>(4P ②交流と連携の促進)</b> 「学校・家庭・地域の連携」だけでなく福祉資源や地域外ボランティアを受け入れるためには、学校にもある程度の規模が必要である。 教育委員会には、教育を支援する多くの人たちと学校を結びつけるコーディネーターの役割を期待します。</p>	<p>現在、策定中の教育ビジョンのなかで、新たな施策「市民による地域の教育力の創出」「学びの支援と人材の育成」等を掲げ、今後、いっそう市民と行政が協働した教育支援の仕組みを構築してまいります。</p>	無
2	<p><b>(4P ④安全かつ機能的な通学区域の弾力化)</b> 「通学区域」の文言の中に『一人ひとりの児童生徒の状況に対応した登下校の機会の確保に努める』という文章を入れてください。 スクールバスの使用において、疾病や障害のため登下校時間が不規則な児童にはどう対応するのか、不登校気味の子、保健室で過ごす子などが、統合によってより「学校に行くにくくなる」ようにならないよう、考慮してください。</p>	<p>再編が合意された場合、「通学の安全」を確保するため、統合前に、地域・保護者の皆様を含めた準備委員会を組織し、統合校の児童の実情、地域の状況に応じた「通学方法」を検討する中で、きめ細かく検討することとしておりますのでご理解をお願いします。</p>	無

3	<p><b>(5P (1)適正規模)</b></p> <p>適正規模の学校に集約するメリットとして『児童生徒数が増えても、教員の配置数が増えることによって、小規模校より一人ひとりのニーズに対応した教育ができる。』となってほしい。特別支援、不登校、いじめなどへの対応する力を増やして欲しい。</p>	<p>教員の配置人数は、県の基準により配置されますが、平成21年4月に統合した栗源小学校の場合、県の配慮により基準より多く教員が配置されており、きめ細やかな対応が可能となっております。</p>	無
4	<p><b>(8P (3)小中連携教育の推進)</b></p> <p>小中連携教育の推進といわれますが、特に今回の再編は低学年児童への影響が大きく、連携教育よりも、低学年児童がより学びやすい環境を守ることの方が重要と思われる。</p>	<p>香取市では、現在、小中連携教育を推進しております。これは、小学1年生から中学3年生までの教育活動が円滑に行われるとともに、児童生徒の発達段階に合わせた、きめ細かな学力、生活面の指導向上を期待するものです。</p> <p>また、音楽やスポーツなどの集団学習は大変重要です。学校において、行事や集団活動が活発に行われ、児童生徒が、発達段階に応じた様々な人との関わりの中で、豊かな人間性、社会性、創造性を身につけていくことが大切で、そのためには、一定の児童生徒数が必要となります。</p> <p>そこで、学校再編を行い、学校の適正規模を確保することにより、児童生徒が、より良好な教育環境の中で、学び、成長することができるものと考えています。</p> <p>学校再編は、子どもたち一人ひとりの心身の健全な成長を願ってのことです。ご理解をお願いします。</p> <p>なお、遠距離通学の場合には、スクールバスの運行を検討します。</p>	無

5	<p>(8P (6)統合に伴う通学方法について)</p> <p>遠距離通学の場合については、バス等での対応を検討するとのことですが、自家用車等での送迎の場合もでると思われます。</p> <p>福田小までの道路や校門付近は非常に狭く、事故等の発生も心配されます。</p>	No. 2 の回答に同じ	無
6	<p>(10P 8学校再編の目標年度)</p> <p>小学校再編の目標年度を「平成32年度」と記入されているが、児童数は記入されていない。</p> <p>平成32年度編成後の児童数を計上するべきではないか。</p>	<p>児童・生徒数につきましては、平成21年5月1日現在の児童・生徒数一覧表と住民基本台帳に基づくデータから推計しております。</p> <p>今後生まれてくる子どもの人口推計は難しく、小学校児童数につきましては、把握し得る平成27年度までの推計としております。</p>	無
7	<p>(11P～12P 再編ブロック案:C・D)</p> <p>小中連携教育(1中1小)とあるが、佐原三中学校にては目標年度の平成32年度には、生徒数87名では再統合されるのではないかと、小中連携教育が継続されるのか疑問である。また、短期間に第二中学校が廃校・竟成小学校が統合にて廃校は急激な教育環境の変化ではないのか、さらに卒業生とっても小学校・中学校が再統合・廃校になるのは言葉に表せない寂しさがあるのではないのか。</p>	<p>本実施プランにおいては、小中連携教育を推進するため、中学校を核とした再編ブロック案を設けています。本案では、中学校は再編しませんが、小学校再編により一部の中学校は規模を確保することはできません。</p> <p>しかし、ご意見のとおり、将来的に、少子化傾向に伴う中学校の再編計画について、次期の計画策定時において検討する必要があります。</p>	無
8	<p>(11P～12p 再編ブロック:C・D)</p> <p>佐原区内の小学校にて生徒数第4位(H27 128名)・学校敷地面積及び運動場面積第2位で、また、昭和57年に校舎竣工している竟成小学校を廃止するのか疑問である。</p>	<p>本実施プランは、学校規模により教育内容に格差が生じないように、「教育の機会均等」「教育水準の向上」を目指し、学校規模の格差を縮小するための全市的な学校再編を考えました。</p> <p>また、市では小中連携教育を推進するため、中学校を核とした配置バランスを併せて検討し、再編ブロック案を設けてお</p>	無

		<p>ります。</p> <p>現在、香取市では市民協働のまちづくりを推進しており、学校再編においても、市民の皆様のご理解と主体性が重要と考えております。</p> <p>今後、あくまで保護者や地元の皆様を中心となった「市民協働の学校再編」を進めるためにも、再編の可能性や中学校進学の問題などを含め、ブロック内で柔軟な話し合いの場を設けてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>9ページの「7 市民協働で学校再編を進めるための配慮事項」をご参照ください。</p>	
9	<p><b>(11P～12P 再編ブロック案:B・C・D)</b></p> <p>他地区の話ですが、香取小学校は急激な変化を避けるため、児童数が規定に満たないがそのまま存続する計画となっています。</p> <p>そういわれるなら、竟成小学校の解体も非常に急激な変化だと思いますので、存続できるのではないかと思います。</p>	同 上	無
10	<p><b>(11～12P 再編ブロック案:C・D)</b></p> <p>許容できる学校の規模の下限として120人という考え方は理解できますし、適当と思われませんが、平成27年度までの推計においても竟成小学校の児童数は120人を超えており、児童数の規模として問題はないと思われま</p>	同 上	無
11	<p><b>(11～12P 再編ブロック案:C・D)</b></p> <p>大根・長山・大崎の児童は、福田小学校へ通う計画となっているが、現在の竟成小学校の敷地面積、運動場面積、体育館、校舎等を福田小学校と比較しても、いずれも竟成小学校の方が勝っていると思われ、福田小学校へ通うこととなった場合、通学が非常に遠くなるばかりでなく、</p>	同 上	無

	児童の学習環境も今より大きく悪化してしまうと思われます。		
12	<p><b>(11～12P 再編ブロック案:C・D)</b></p> <p>福田小と竟成小を航空図面で比較しても、運動場の広さでは竟成小の方がはるかに広く（以前は佐原市の陸上大会の会場となっていた。）、再編後の福田小で運動会等ができるか心配しています。</p> <p>（あくまでもこれまでとの比較の問題です）。</p>	同 上	無
13	<p><b>(11～12P 再編ブロック案:C・D)</b></p> <p>小中連携・適正配置ということで、竟成小学校が、佐原第3中学校と第5中学校に分かれてしまうことを問題視されていますが、長い歴史の中で学校配置がうまくいかず、分かれてしまったものであり、地域住民としてそれを大きな問題として認識したことはありません。</p> <p>（私の時も2中と3中と5中に分かれましたが、子供としてはいやな思いはしていません。）</p>	同 上	無
14	<p><b>(11～12P 再編ブロック案:C・D)</b></p> <p>与倉・観音・鳥羽の児童については、東大戸小学校へということですが、やはり竟成小学校より敷地・運動場面積も狭く、校舎も古いようです。環境が向上するとは思われません。</p> <p>何より現在竟成小学校の近辺に住宅地ができており、目の前にある小学校がなくなってしまうのを心配している父兄の方もたくさんいます。</p>	同 上	無
15	<p><b>(11～12P 再編ブロック案:C・D)</b></p> <p>現在、神南小と福田小の児童数の減少が著しく、その問題を解決するのが喫緊の課題だとは思われますが、それと併せて竟成小学校も整理してしまうというのは、あまりにも乱暴だと思います。</p>	同 上	無

16	<p>(11～12P 再編ブロック:C・D)</p> <p>香取市の方針で1学級20人程度、6学級120人超えるとあるが竟成小学校は現在でも120人を超えていて平成27年でも128人と市が望む児童数を確保している状態である。</p> <p>竟成小学校は過小規模校にらず許容規模校である。</p>	同 上	無
17	<p>(11～12P 再編ブロック:C・D)</p> <p>何より環境のよい竟成小学校を廃校とするのは、児童にとっても、地域にとっても非常にもったいないことであり、それによって児童が不利益を受けることは、地域住民として、市民として納得のいくことではありません。</p>	同 上	無
18	<p>(11～12P 再編ブロック:C・D)</p> <p>竟成小学校の環境が非常に悪く、生徒数も100人にも満たないようであれば、納得もいきますが、現状を考えれば、今回の計画ではなく、次回以降の再編計画の中で議論すべきものだと思います。</p>	同 上	無
19	<p>(11～12P 再編ブロック:C・D)</p> <p>香取小学校の統廃合しない理由に「平成16年佐原二中と四中が統合になり香取中が新設され」とあり「周辺校との統合が難しいため」とあるが我が大根地区も三中に進学を余儀なくされ、危険の極みのような街道を自転車で通学しています。</p> <p>地図で見るかぎり竟成小学校が廃校となり、他校へ通学距離が長距離となるなか、香取小学校は存続とは理解できない、やるなら誰もが納得できるように実行すべきではないでしょうか。</p>	同 上	無
20	<p>(11～12P 再編ブロック:C・D)</p> <p>香取小学校は平成27年には全校で79人と激減するのに存続して128人の児童数が確保できる竟成小学校が廃校は絶対納得できない。</p>	同 上	無

	<p>1校2小教育が存続する地区があるのに竟成小学校は廃校とはなぜか。</p> <p>児童数、立地、設備、竟成の前に廃校する学校があるのではないか。もっと良く考えていただきたい、すべき事。</p>		
21	<p><b>(11～12P 再編ブロック案:C)</b></p> <p>「成田空港関連の予算があるから福田小へ」との説明もありましたが、市の予算と児童の学習環境を秤にかければ、児童の学習環境を優先させるべきだと思います。</p>	<p>No.7の回答に同じ</p> <p>交付金については、あくまで貴重な財源と考えておりますが、学校再編の理由のすべてではございません。ご意見にある教育環境や、適正規模、市内の配置バランスなど含め、市民協働で、今後、具体的な学校再編を話合っていたきたいと考えております。</p>	無
22	<p><b>(11～12P 再編ブロック案:C)</b></p> <p>福田小学校・佐原第三中学校のみが優遇されているように記載されているが、成田国際空港周辺対策交付金は千葉県・茨城県の香取市外9市町で香取市内学校であれば交付申請できる。</p>	<p>成田国際空港周辺対策交付金につきましては、成田国際空港株式会社法の規定に基づき、国土交通省告示により定められた地方公共団体に交付することとなっております。</p> <p>その交付規程により、香取市では、福田小学校、佐原第三中学校の2校のみが教育施設等騒音防止対策事業費助成を受けており、空調設備等の設置及び維持管理にかかる交付金の対象施設となっております。今後は、新規の交付申請は受けないこととされています。</p>	無
23	<p><b>(11～12P 再編ブロック案:C・D)</b></p> <p>大根、長山、大崎地区は通学距離だけを考えると、佐原小学校のほうがより近くなってしまい、佐原小学校への通学希望がでると予想されます。</p>	<p>学校再編により、遠距離通学となる場合は、スクールバスの運行を検討することとなります。</p> <p>また、通学区域は、教育委員会規則に基づいて、お子様の住所により就学すべき学校が指定されることとなります。ただ、ブロック内の地域によっては、自然、地理的環境により指定校以外の学校が近くなる場</p>	無

		<p>合があります。特別な理由により指定学校を変更したい場合は、変更許可申請の手続きをしていただき、許可基準に適合した場合に限り、許可されます。一部、区域が入り組んでいる地域については、お話を伺い決定させていただく場合もありますのでご了承ください。</p> <p>なお、佐原小学校は、市内で最も規模の大きい小学校であり。適正規模校であり、今回の再編対象校とはなっておりませんので、ご理解をお願いいたします。</p>	
24	<p><b>(11～12P 再編ブロック:C・D)</b>          竟成小学校の廃校に反対です。          通学区域は、弾力的にカバーとありますが、かなりの児童が佐原小学校へ流れると思います。          スクールバスを出しても、どうかな。          ただ朝・帰り複数本スクールバスが出るのであれば良いと考えます。</p>	<p>8ページ「(6)統合に伴う通学方法」に記載のとおり、学校再編により、通学距離が4キロメートルを超える場合は、遠距離通学としてスクールバスの運行を検討します。</p> <p>また、バスの運行ルート、内容等については、学校、保護者等において検討組織を設置し詳細を検討します。</p> <p>栗源小学校においては、検討の結果、運行時間帯を低学年と高学年に分け朝、夕2便ずつ運行しております。</p>	無
25	<p><b>(12P 再編ブロック:E)</b>          計画案の内容についてですが、新島中の生徒数が減少するならば新島中と佐原中の統合再編を考えるべきであり、スクールバス等利用すれば問題ないと思われませんが、北佐原小が立地的に利根川の左岸にあるからといってこれまでと違う学区にするのは反対です。          計画案に記載の通り佐原中学校は【適正規模校】になっているのであれば、現状を変える必要は無いはず          私の廻りでは本計画案に反対の人が多数です。教育委員会の方々この</p>	<p>本実施プラン(案)においては、中学校にかかる再編及び学区の変更は考えておりません。</p> <p>北佐原小学校につきましては、学校の許容規模が維持されると推測されますので再編の対象となっておりません。</p> <p>このようなことから中学校への進学は現状のとおりとなります。</p> <p>ただし、将来的に児童数の減少などにより、再編されることとなるときは、P13に示しましたように利根川左岸地域の「小中連携教育」の推進のため</p>	無



	現状をどうお考えですか。	中学校区の変更を含め市民協働で検討していただくこととなることが考えられます。	
26	<p>(12P 再編ブロック:E) (要望)</p> <p>現在、北佐原小学校卒業生は、通学距離に則した中学校(佐原または新島)に通学しています。</p> <p>これが、新島中学校のみの通学になると、多数の生徒達は佐原中学校への通学距離と比べて遠距離になります。</p> <p>また、新島中学校への通学路は、住宅が少なく、街灯の設置もされていないに等しく、危険極まりない状況で通学をしなければなりません。</p> <p>こうした危険な通学状況に陥らないためにも、実施プラン(案)内で記されている『4 実施プラン策定に向けた基本課題』④ 安全かつ機能的な通学区域の弾力化のとおり、北佐原地区の生徒は、通学路が安全で通学距離に則した佐原中学校への入学が出来るよう御配慮願います。</p>	同上	無
27	<p>(13P 再編ブロック案:G・H)</p> <p>山倉小学校が第一山倉小学校と統合する場合は、再編場所は施設の充実している山倉小学校に決めたいただきたい。山倉小学校には、校舎、体育館、プールが揃っているからである。</p> <p>〔第一山倉小学校は、平成20年度から、プールが使えなくて、山倉小学校のプール(平成6年施工)を借りて、水泳指導をしている実状である。〕</p> <p>なお、再編場所が山倉小学校になった場合には、「学区の一部を近い栗源小学校学区にする」という案は白紙に戻していただきたい。</p>	<p>13 ページGブロック山倉小学校の再編位置につきましては、市内全体の学校配置バランス、スクールバス通学時における立地等を考慮したプラン(案)としております。</p> <p>今後、各ブロックごとに話し合いの機会を設け、地域の皆様と再編について協議します。</p> <p>また、「山倉小学校学区の一部を栗源小学校学区にする」内容につきましては、該当する地域の皆様と協議いたしました結果、9 ページ 「7 市民協働で学校再編を進めるための配慮事項」として示しましたように、「調整区域」の制度を導入することで概ねご理解をいただきました。</p>	無

28	<p><b>(15P (5)跡地利用の検討)</b></p> <p>跡地利用の検討について「庁内の横断的な調査・検討の実施」とありますが、縦割り行政にならないよう充分気をつけてください。</p> <p>例えば都市計画において「小学校は地域コミュニティの核」という考えがあるようですから、教育委員会が関与し、近く決定されるマスタープランにきちんとした見通しを入れるよう要望します。</p>	<p>学校跡地の利用につきましては、栗源区の検討方法を参考としまして、保護者や地元住民の皆様を中心に検討する場を設けます。そのご意見やアイデアなどの検討結果をもとに、市長部局関係課と横断的に協議をいたします。</p>	無
29	<p><b>(その他)</b></p> <p>下記理由により過小規模校になっても可能な限り学校を残す</p> <p>①義務教育の充実を図るためには、許容規模の人数が確保されていることにこしたことはないが、絶対に必要な条件ではないと思う。</p> <p>小規模校でも学校の努力や工夫次第で充実した教育ができることを言いたい。</p> <p>少人数になると授業の問題や社会性育成等の問題が指摘されているが、隣接学年との合同授業や近隣校と連携した「合同授業」を導入すればかなりクリアーすることができるものと思う。</p> <p>②学校再編の対象になっている小学校の大部分は、校舎、体育館等の施設が比較的新しく、まだ十分に使える。再編に伴う跡地の有効利用は構造上かなり難しく無駄になってしまう。</p> <p>③学校再編が教育の視点だけから論じられているが、学校は教育の場だけでなく地域の拠点(特に小学校)となっており、地域の“共有財産”としての側面をもっている。その学校が無くなることによって、地域社会の衰退につながる事が十分考えられる。</p>	<p>本実施プランは、児童数の減少から、学校規模により教育内容に格差が生じないように、「教育の機会均等」「教育水準の向上」を目指すことを目的としております。</p> <p>近い将来、異学年の児童生徒が同じ教室で学ばなければならない、複式学級も増加する傾向にあります。</p> <p>このため、今後の児童数を把握し得る10年間を目標に香取市全体の小学校の配置を考え本プラン(案)を作成いたしました。</p> <p>また、学校は地域の核である観点から、なるべく地域に学校を残しつつ、集団学習が可能となる配置を考えました。</p> <p>ご意見にある学校の跡地利用などの課題も多々ありますが、市内全域の学校適正配置と適正規模から検討し、子どもたちが等しい条件の中で、教育を受けられるよう考えたものでございます。</p> <p>いずれにしましても、再編の可能性を含め、各ブロックごとに話し合いの機会を設け、地域の皆様と市民協働で協議させていただきますのでご理解をお願いします。</p>	無

30	<p>(その他)</p> <p>竟成小学校の統合問題については、今後、意見会などが開催されるようであれば参加していきたい。</p>	<p>今後、各ブロックごとに話し合いの機会を設け、市民協働で学校再編を協議しますので参加をお願いします。</p>	無
31	<p>(その他)</p> <p>竟成小学校の存続を強く希望するものであり、適正配置計画・実施プランの再検討を希望します。</p>	<p>9ページに「7市民協働で学校再編を進めるための配慮事項」として、示しましたように学校再編について、地域の皆様との話し合いの結果、合意形成が得られない場合は、課題を整理しながら市民協働で検討してまいりますのでご理解ください。</p>	無
32	<p>(その他)</p> <p>元旦の広報を見ましたが、(原案)をもとに保護者説明会、地域説明会などを開催し、その意見を反映した実施プラン(案)を作成したとのことですが、原案がどのように変わったのでしょうか。どのような意見に対して、どのように変わったのか、よくわかりません。案を見る限りでは、原案そのもののように思いますが、どうなんでしょうか。</p>	<p>延べ43回、2500人を超える市民の皆様にご参加をいただき、貴重なご意見をいただきました。</p> <p>市でも市民の皆様同様、学校は、長い歴史と文化があり、市民の皆様の母校であり、地域の核と考えております。</p> <p>このようなことから、学校再編においても、市民の皆様のご理解と主体性が重要と考えました。</p> <p>具体的な内容としては、9ページに「7市民協働で学校再編を進めるための配慮事項」として、代表者会議など、地元での話し合いの機会を設け、再編について合意形成がなされたときに再編統合を進めてまいります。</p> <p>また、旧行政区を越えて再編される地域について弾力的な制度を導入する内容を加えました。</p> <p>このようなことから、今後、あくまで保護者や地元の皆様を中心となった「市民協働の学校再編」を進めるためにも、再編の可能性を含め、ブロック内で柔軟な話し合いの場を設けてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。</p>	無

33	<p>(その他)</p> <p>本計画案には説明会時の意見を反映して作成したとありますが、全くそんなことは無く、意見を聞く前に配置計画が出来ていて、意見をして「聞く耳もたず」でありました。</p> <p>意見を聞く前の配置計画と意見を聞いて変更した箇所はどこか記載して頂きたい。</p>	同 上	無
34	<p>(その他)</p> <p>小学校は地域のシンボルです。統廃合は、慎重の上にも慎重を期することが必要と思います。まだ一部の関係者だけで、PTA 含め多くの地域住民は知りません。納得いくまで地域説明会を開催してほしいと思います。その際は統廃合によるメリット、デメリット、他市町村や栗源小での参考事例など、行政側のメリットだけでなく、様々な問題があることも説明する必要があります。事が起きてから「こんなはずじゃなかった」とならないようにして頂きたいと思います。</p>	同 上	無
35	<p>(その他)</p> <p>(案) は案であり、変更可能なものと思いますが、一度出されるとなかなか変更できないことがほとんどです。変更が可能であることをはっきりさせて頂きたいと思います。</p>	同 上	無
36	<p>(その他)</p> <p>本計画案の存在を市内のどの程度の方が認識しているか疑問を持っています。</p> <p>現在小学校に在学中の世帯には計画案や意見書が配布されているが、保育所では配布されておらず「広報かとり」で説明会を開催すると案内しただけで、インターネット上で閲覧するにも香取市ホームページのかなり中まで入っていかないと見れない状況で、私の廻りでも就学前児のいる世帯で計画案を知らない世帯が</p>	同 上	無

	ありました。 このような状況で計画案をどんどん進めてしまう市側のやり方に疑問を持ちます。		
--	---	--	--

3. 問合わせ先

香取市役所 教育部 教育総務課

TEL 0478-50-1220 / FAX 0478-54-5550